

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	428	子育て支援センター費	01	01	一般会計
基本施策	10	少子化に歯止めをかける	03	03	民生費
			04	04	児童福祉費
			01	01	児童福祉総務
担当部課名		青山支所 健康福祉課	103	103	子育て支援対策事業
作成者氏名	奥田 充法	連絡先	52-3228	02	子育て支援センター費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
乳幼児を持つ保護者		子育てに関する相談・カウンセリング・交流や各種の情報が得られる等、子育てに関する総合的なサポートを行う。
本年度事業内容	広場事業・相談事業・講演会や講座・一時保育の連絡調整や情報誌を発行した。	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
根拠法令・要綱等	伊賀市子育て支援センターの設置及び管理に関する条例	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	2.5	2.5	2.5
人件費合計(A)	18,000	18,000	18,000
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,948	3,047	3,050
委託料			
共済費・賃金	2,341	2,278	2,300
備品購入	49	86	50
その他	558	683	700
合計(A+B)	20,948	21,047	21,050
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	20,948	21,047	21,050
上記①～③に関する特記事項	臨時職員 1名		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
開館日数	日	241	235	235			
広場事業利用者数(延)	人	3628	3700	3700			
相談事業件数	件	299	250	200			
情報誌発行部数	部	8120	6600	6600			
講演会・講座開催	回	5	7	7			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
開放日1日あたりの参加者	総来館者数/開館日数	人	15.05 目標 (20)	15.74	15.74
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

開館以来、正規職員は所長1名で、看護資格を有する臨時職員1名の計2名で運営しているが、近年の核家族化・社会環境の変化に伴い子育てに不安を持つ人が増え、このような場合における市民の悩みや相談に応じたり情報提供等の支援をつづけるが、市全体としてもセンター数が少なく、今後少子化対策の一環からも増設が必要と考える。又、支援センター建設が旧青山町のため、市全体への周知がされていない状況であり、全市民的にどのように子育て支援を行うか検討が必要である。

評価	必要性	4	子育て家庭の交流の場や育児相談ができる場を提供することにより、地域の子育てを支援する基盤形成ができ、少子化対策にとって大切な事業である。また、月曜の休館については保護者等の意見を伺いながら検討の必要がある。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		